



第7回勉強会のお礼とご報告

第7回勉強会は都市計画制度と番町の地区計画について高崎経済大学地域政策学部地域政策学科准教授 大澤昭彦氏からお話を伺い、その後、グロービス経営大学院学長 堀義人氏、建築士 大橋智子氏でパネルディスカッションを行いました。過去最高の130名程にご参加いただき、半数近くの方が初参加の方だったようです。ご参加いただきました皆様、そして今回も会場をご提供くださいました堀義人氏、グロービスのスタッフの方々をはじめ、ご案内チラシの配布など開催へ向けてご協力くださいました皆様に心よりお礼申し上げます。

大澤氏より、現在、日本テレビ通り沿道まちづくり協議会で議論されている千代田区作成の「まちづくり基本構想（素案）」に描かれている日テレ通り沿道の将来像は、現行の地区計画や都市マスタープランとは相容れない内容も含まれているとのご指摘がありました。また、最も大事なことは、これからの番町の在り方を一人一人がしっかり考え、時間をかけて議論することであると述べられました。自分たちの町を自分たちで守っていき、そして、番町に携わる多くの方々と『より良い番町』を作り上げていくことができたら、きっと、とても楽しいのではないのでしょうか。

当日実施したアンケートでは、番町に『求めるもの』として殆どの方が「治安の良さ」「文教地区としての環境」の項目にチェックされていました。また『守りたいもの』として「静かさ」「落ち着いた街並み」「品格」「高さ制限」「文教地区」の記載が多くありました。一方で、「歩道の拡幅」「東郷公園の早期再開」「夜道を明るく」「野外広告物の規制」「歩道と車道の分離」「緑視率（人の視野に占める緑の量の割合）のアップ」という要望がそれぞれ複数あり、課題も見えてきました。

より良い番町を自分たちの手で作り上げていく住民組織（プラットフォーム）を作っていければと考えております。



勉強会 会場の様子